

製品名: ERF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10585**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	ERF
別名	ERF; ETS domain-containing transcription factor ERF; Ets2 repressor factor; PE-2
遺伝子 ID	2077.0
SwissProt ID	P50548
免疫原	抗血清はヒト ERF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 492-541

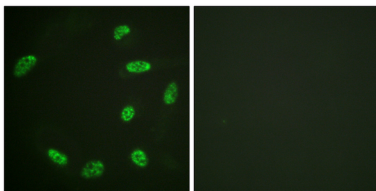
背景

ETS2 は、発生、アポトーシス、およびテロメラーゼの調節に関与する転写因子およびプロトオンコ遺伝子である。この遺伝子によってコードされるタンパク質は ETS2 プロモーターに結合し、ETS2 転写の強力なリプレッサーである。この遺伝子には、2つの異なる

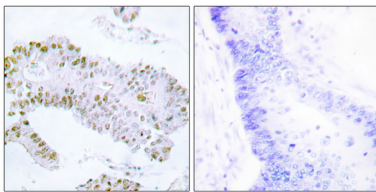
アイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2015年8月]機能: Ets2 プロモーターの H1 エlement に結合する強力な転写リプレッサー。細胞増殖に関する他の遺伝子を制御する可能性がある。胚体外胚葉分化、胎盤外円錐体腔の閉鎖、および絨毛尿膜付着に必要 (類似性による)。栄養芽細胞幹細胞の分化の制御に重要である可能性がある。、PTM: おそらく ERK2 を含む複数のキナーゼによってリン酸化される。リン酸化は ERF の活性を制御します。、配列に関する注意:配列は pre-mRNA に由来すると思われるため、示されているものとは異なります。、類似性:ETS ファミリーに属します。、類似性:1 つの ETS DNA 結合ドメインを含みます。、組織特異性:精巣、卵巣、脾臓、心臓に最も多く存在します。、

研究分野

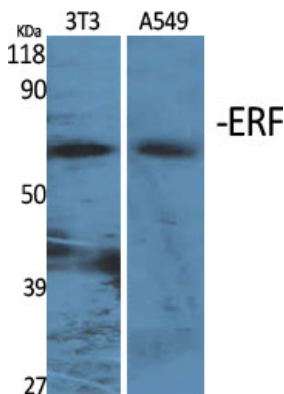
画像データ



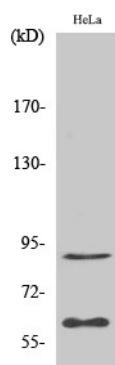
ERF 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



ERF 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



ERF ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。



ERF ポリクローナル抗体を使用した HepG2 細胞のウエスタンブロット分析。

